

## 愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

### ① 第三者評価機関情報

評価機関名：福祉経営総研 (認証番号：20地福第941号)
訪問調査 実施日：平成21年12月11日(金)

### ② 事業者情報

名称：(法人名) 安城市 (施設名) 南部保育園	種別：(施設種別) 保育所 (基準の種類) 児童福祉施設(保育所版)
代表者氏名：(施設長) 富永千寿子	定員(利用人数)： 175名
所在地：〒446-0026 愛知県安城市安城町小塚22番地1	TEL 0566-76-2352

### ③ 総評

#### ◇特に評価の高い点

・園の周囲には、田畑が広がり、近隣には城址公園もあり、自然豊かな環境の中で、園児がのびのびと遊んでいます。乳児を積極的に受入れ、延長保育、休日保育を実施し、「ワイワイキッズ」(園内開放)を併設し、未就園児親支援事業も行っており、積極的な取り組みを進めています。

豊かな自然を活かした保育内容が考えられ、公園で採ってきた松ぼっくりを使ってクリスマスの飾り付けを作ったり、園の特徴を活かした取り組みが行われています。“楽しく過ごす”という園長先生の方針通り、園児や保育士が楽しく過ごしており、園長先生の方針が保育園全体に周知され、実践されていることが理解できます。周知の方法も、掲示板やおたより、送迎時の保護者との情報交換を通じ行われ、日々の様子や食べ具合等から、園の理念に至るまで積極的に情報提供をしています。また、定期的に保護者からの意見を聴く機会を設け、その都度意見に対し、職員間で話し合いを設け改善立案し、保育内容へ活かしており、保護者の意見に対して誠実に対応している姿勢も伺えます。

保育士も日々研修に参加をしながら、園内でのフィードバックも行ったり、積極的に新人の保育士に発言の機会を設けるなど、職員全体で質の向上に向けた取り組みを行っています。こういった取り組みが活かされ、園児がのびのびと明るく、安心して過ごしている姿に反映されています。特に、異年齢交流の取り組みとして、名札の裏にペアの園児の名前があり、それを園児が楽しそうに話してくれる姿は印象深く、異年齢との交流を通じ人間関係の育成がなされている様子が伺えました。

#### ◇改善を求められる点

・歴史が長く、地域の人から親しまれている保育園ですので、今後は更に地域ニーズに基づいた福祉サービスの充実への積極的な取り組みを期待します。地域との交流の機会を増やしたり、園開放や育児相談の開催を地域の人へ知っていただくアピールの方法などを検討しながら、地域ニーズの把握の機会を増やし、サービスの向上を目指して頂きたいと期待しています。

#### ④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けることにより、今までの自分達実践してきた保育を振り返り、確認することができました。そして、これからはしっかりと継続していくべき事、見直し改善が必要な事などが明確になり、多くのことに気づくことができました。今後も、職員間での勉強会や話し合いを充実させ、職員間の意識統一を図るとともに保育の質の向上に繋げていきたいと思ひます。

改善点については、園開放の内容や回数を検討したり地域との交流や保育園のピーアールを積極的に進めたりして、地域ニーズを把握しサービスの向上に努めていきたいと思ひます。

#### ⑤評価細目(項目)の第三者評価結果(別添)

(別添)

# 評価項目(細目)の評価結果(保育所)

※すべての評価細目(85項目)について、判断基準(の3段階)に基づいた評価結果を表示する。

## 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。			
	I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	保 1	Ⓐ ・ b ・ c
	I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	保 2	Ⓐ ・ b ・ c
I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。			
	I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	保 3	Ⓐ ・ b ・ c
	I-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	保 4	Ⓐ ・ b ・ c

### I-2 計画の策定

		第三者評価結果	
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	保 5	Ⓐ ・ b ・ c
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	保 6	Ⓐ ・ b ・ c
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。			
	I-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	保 7	Ⓐ ・ b ・ c
	I-2-(2)-② 計画が職員や利用者等に周知されている。	保 8	Ⓐ ・ b ・ c

### I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	保 9	Ⓐ ・ b ・ c
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	保 10	a ・ Ⓑ ・ c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	保 11	Ⓐ ・ b ・ c
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	保 12	Ⓐ ・ b ・ c

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

		第三者評価結果	
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	保 13	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	保 14	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	保 15	Ⓐ ・ b ・ c

Ⅱ-2 人材の確保・養成

		第三者評価結果	
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	保 16	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	保 17	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	保 18	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	保 19	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	保 20	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	保 21	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	保 22	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅱ-2-(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受入れに対する基本的な姿勢を明確にし、体制を整備している。	保 23	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅱ-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取組を行っている。	保 24	Ⓐ ・ b ・ c

## II-3 安全管理

		第三者評価結果	
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。			
II-3-(1)-① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	保 25	① ・ b ・ c	
II-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	保 26	① ・ b ・ c	
II-3-(1)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	保 27	① ・ b ・ c	
II-3-(1)-④ 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	保 28	① ・ b ・ c	
II-3-(1)-⑤ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	保 29	① ・ b ・ c	
II-3-(1)-⑥ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	保 30	① ・ b ・ c	
II-3-(1)-⑦ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 31	① ・ b ・ c	
II-3-(1)-⑧ 不審者の進入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	保 32	① ・ b ・ c	

## II-4 地域との交流と連携

		第三者評価結果	
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
II-4-(1)-① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	保 33	① ・ b ・ c	
II-4-(1)-② 保育所が有する機能を地域に還元している。	保 34	① ・ b ・ c	
II-4-(1)-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	保 35	① ・ b ・ c	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	保 36	a ・ ② ・ c	
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	保 37	① ・ b ・ c	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	保 38	a ・ ② ・ c	
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	保 39	a ・ ② ・ c	

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果	
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	保 40	① ・ b ・ c	
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	保 41	a ・ ② ・ c	
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の上昇に努めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るなど利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備している。	保 42	① ・ b ・ c	
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の上昇に向けた取組を行っている。	保 43	① ・ b ・ c	
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	保 44	① ・ b ・ c	
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	保 45	① ・ b ・ c	
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	保 46	① ・ b ・ c	

### Ⅲ-2 サービスの質の確保

		第三者評価結果	
Ⅲ-2-(1) 質の上昇に向けた取組が組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	保 47	① ・ b ・ c	
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	保 48	① ・ b ・ c	
Ⅲ-2-(1)-③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	保 49	① ・ b ・ c	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	保 50	① ・ b ・ c	
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	保 51	① ・ b ・ c	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	保 52	① ・ b ・ c	
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	保 53	① ・ b ・ c	
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	保 54	① ・ b ・ c	

### Ⅲ-3 サービスの開始・継続

		第三者評価結果	
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	保 55	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	保 56	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
Ⅲ-3-(2)-①	保育所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	保 57	a ・ Ⓑ ・ c

### Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

		第三者評価結果	
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	保 58	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	保 59	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	保 60	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	保 61	Ⓐ ・ b ・ c

### Ⅲ-5 保育の固有サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-5-(1) 健康管理・食事サービスが適切に行われている。		
Ⅲ-5-(1)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	保 62	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-② 健康診断・歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	保 63	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-③ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	保 64	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-④ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	保 65	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑤ 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。	保 66	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(1)-⑥ 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患を持つ子どもの状況に応じて適切な対応を行っている。	保 67	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2) 保育環境が適切に整備されている。		
Ⅲ-5-(2)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	保 68	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(2)-② 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	保 69	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3) 保育内容が適切に行われている。		
Ⅲ-5-(3)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	保 70	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対処している。	保 71	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	保 72	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-④ 身近な自然や社会と関わるような取組がなされている。	保 73	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	保 74	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮されている。	保 75	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	保 76	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	保 77	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 78	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 79	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	保 80	a ・ Ⓑ ・ c
Ⅲ-5-(3)-⑫ 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を考慮しながら行っている。	保 81	非該当
Ⅲ-5-(4) 入所児童の保護者の育児支援が適切に行われている。		
Ⅲ-5-(4)-① 一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	保 82	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	保 83	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-③ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	保 84	Ⓐ ・ b ・ c
Ⅲ-5-(4)-④ 虐待を受けていると疑われている子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	保 85	Ⓐ ・ b ・ c